



ごあいさつ

当院では、消化器領域や呼吸器領域、婦人科領域、泌尿器領域で手術を要する病気に低侵襲で安全な内視鏡治療をお勧めしています。手術に用いるカメラは、3Dの腹腔鏡や胸腔鏡をはじめ、病気や臓器に応じて使い分ける各種内視鏡です。これらのカメラで映し出される高精細で高品質の画像のもとに、ほぼ全例の手術に内視鏡外科学会の認定資格を持った技術認定医が執刀しています。術後は、内視鏡手術の周術期を経験豊かで、高いスキルを有する医師と医療スタッフが、万全を期した管理体制で患者様の早期回復に臨んでいます。

身体に優しい手術として、今世紀に入り急速に発展してきた内視鏡手術は、日本を始めとする先進諸国で、その進歩は格段に進み、対象となる臓器も体内の全てに拡大し、年々、症例が積み重ねられています。

当院は、これからの地域医療を睨み、内視鏡手術に携わる医療関係者の裾野を広げたいとの願いから、安全で高度の低侵襲鏡視下手術の普及に欠かせない、手術手技の向上、チーム力の強化、治療成績の向上等の努力目標を掲げ、令和5年4月1日、院内に広島M J内視鏡手術センターを開設しました。

今後も急速に進む高齢化社会のなかであって、手術を余儀なくされる高齢の患者様は年々増加の一途を辿ると予測されています。従来の体に負担が大きくかかる開腹、開胸手術と比べ、負担が限りなく少ない低侵襲内視鏡手術は益々、そのニーズが高まると考えられています。地域への更なる貢献、寄与に向けて、スタッフ一同、研修、教育を通じて一層精進してまいります。どうぞ宜しくお願い致します。

広島M J内視鏡手術センター

榎殿 公誉（日本内視鏡外科学会技術認定医）